

語学以外の目的をもった留学

自然科学研究科 鈴木聖袈

皆さんは留学と聞いて何をイメージするでしょうか？

「語学を学びに行く」ではないでしょうか？もちろんそれも目的のひとつだと思います。しかし、私は「語学だけ」の目的で留学することをお勧めしません。理由は現地に行っても「話す機会」を自ら作らない限り語学を話す機会がないからです。ではどのように「話す機会」を作るのでしょうか？それは「語学以外の目的」を作ることです。では語学以外の目的とはどのようなものなのでしょうか？それは「学びたいこと」です。私の場合は「日本酒とビール」をテーマにインターンシップ留学をしました。

1、 留学のきっかけ

私は中学生の頃から語学が好きで「大学生になったら長期留学をしてみたい」と考えていました。大学生になりトビタテの説明会を聞き「語学以外を目的にした留学もある」と知りました。私は将来、新潟県の日本酒業界で海外輸出に貢献したいと考えており、さらに専攻で日本酒酵母の研究もしていたので、日本酒に関連する留学をしたいと思い、トビタテ留学 JAPAN! のご支援のもと留学しました。

2、 留学の目的と留学生活

目的は2つです。「日本酒の海外プロモーションを学ぶこと」と「カナダで人気のクラフトビールの研究開発・マーケティングから日本酒への応用点を学ぶこと」です。留学生活は語学学校でインターンシップに必要な語学力を身に付けた後、日本酒とビールに関連する会社、計5社でインターンシップをさせていただきました。

3、 インターンシップ（日本酒）で学んだこと

日本酒に関連するインターンシップは3社でお世話になりました。そのうち2社はカナダのバンクーバーにある日本酒イベント企画団体と日本酒商社で、同時期に2ヶ月間お世話になりました。こちらでは日本酒イベントの主催と、テイastingイベントのサーバーをさせていただきました。私にとってこの経験は初めて海外の人と日本酒についてコミュニケーションを取る場だったので、意見がとても新鮮でした。このとき感じたことは「日本酒の潜在能力」です。日本文化や日本食ブームで日本酒に興味を持っている方が想像以上にいました。その中には興味があっても良い勉強ツールがなく困っている人やリカーショップに売っているものが限られている上、高いため存分に楽

しめないと嘆いている人もいました。これは、日本酒にとってチャンスを逃していることになると思います。これからもっと充実した日本酒の海外基盤を作っていく必要があると思う一方、海外での日本酒情報が少ない中でここまで日本酒を好きと言ってくれる人がいるのだからもっと情報発信すれば、もっと多くの人が好きになってくれるのではないかという潜在能力を感じました。

残りの1社は現地のカナダのトロントにある日本酒酒造会社で2ヶ月間お世話になりました。こちらでは併設されている日本酒バーでサーバーとして働かせていただきました。バンクーバーでの日本酒イベントでは、少なくとも日本酒について耳にしたことのある人、興味のある人がお客さんだったことに対し、この日本酒バーでは日本酒について聞いたこともない人や飲んだことないという人も多くいたということが新鮮でした。そういった人にどのようにわかりやすく日本酒を説明できるか、試行錯誤の毎日でした。その中で「ペアリング」についても説明することの必要性を感じました。海外では日本に比べてワインの文化が強いためか、食との合わせ方を質問する人が多いと思いました。日本酒は食のペアリングによって感動するくらい劇的に美味しさが増すのでそういった部分を知ってもらえたら、もっと日本酒ファンが増えるのではと感じました。カナダは多文化の国なので、その人によって馴染みの味、料理が違います。つまり、その国に合わせたペアリングの提案が必要になると思います。私もまだまだ日本酒は勉強中ですが、日本食だけでなく他の国の料理とのペアリングについても勉強していきたいです。

4、インターンシップ（ビール）で学んだこと

ビールに関連するインターンシップでは2社でお世話になりました。設立1年目の新しいクラフトビール会社に主にお世話になり、加えてカナダシェア第3位の大手ビール会社でも1週間の研修をさせていただきました。この2社は規模において対照的なため比較しながら学ぶことができました。1社目のクラフトビール会社では製造と研究について学びました。まず、製造に関しては仕込み全般を体験させてもらいながら学びました。このとき気付いた点が、「原料の多様性」です。日本酒造りに比べてビール造りは原料の種類が幅広く、製品の味にも多様性が生まれるということです。ビールでは穀物だけでなくホップも使われます。それらの中でもコーヒーのような香ばしさ、メロンのような熟れた甘さ、パインのような爽やかさのある酸味といった具合に細かく特徴が別れます。さらにフルーツピューレやパウダーも使うことで味に多様性が生まれます。

この原料の多様性は日本酒との大きな違いだと思います。日本酒は原料より製造過程が製品に大きな影響を与えるからです。そのため、私がビールから学んだ「原料の多様性」を日本酒に完全に活かすことは難しいかもしれません。しかし、フルーツピューレやパウダーといった点では日本酒に応用できると思います。カナダでみたクラフトビールでは、柑橘類やベリーだけでなくメープルシロップやコーヒー豆、シナモン、ブラックペッパーのように日本では馴染みのない味がたくさんありました。これらはフルーツピューレやパウダーを加えたことでできた味です。もしこれらを日本酒で使ってみたらどうなるのだろうと興味が湧きました。

次に、研究についてです。研究室の立ち上げの手伝いと実験の確立をしました。酵母の培養を担当

し、できるだけ低コストで酵母を培養する方法を調べて実験しました。私は大学4年のときに酵母の研究をしていたので、簡単のように思えますが、実際は大学の設備に比べて乏しい環境の中でどのように工夫するかが大変でした。また、失敗すれば経営にも影響与えてしまうというような大学では感じなかったプレッシャーも感じました。この実験は無事に期間中に終わることができ一安心でした。

2社目の大手ビール会社では製品開発、マーケティングを中心に学びました。クラフトビール会社と比較すると製造設備や研究設備は充実し、従業員数は圧倒的に多かったです。このなかで気付いたクラフトビール会社のメリット、デメリットがあります。

まずメリットは「すぐに商品化しやすい点」です。大手ビール会社では1つの商品を作るために時間と労力を使います。新商品を失敗してしまうと廃棄量も増え、大損失になってしまうからです。一方でクラフトビール会社では1つの新商品の製造量が少ないため、もし失敗してしまっても損失が少なく済むため、様々な味にチャレンジできます。また消費者自身も変わったクラフトビールを求めているので大手ビール会社では受け入れられにくい商品でも個性として受け入れられる可能性があります。

一方、デメリットは「情報量」です。大手ビール会社では徹底したマーケティング調査量、多くいる従業員同士の情報交換が頻繁に行われます。クラフトビール会社に対する圧倒的な情報量により、いち早く流行を掴み、新商品を作ることができます。

5、 留学全体を通して学んだこと

インターンシップで学んだ専門知識以外にも留学全体を通して学んだことが4つあります。

1つ目は「語学」です。語学学校で学んだ語学より、インターンシップを通して学んだ語学が身についたと実感しています。語学学校ももちろん良いのですがネイティブと話す機会が少なく、自分の語学の成長度が遅いように感じました。一方で、インターンシップでは仕事の中でネイティブが使う言葉を聞き、使うことができるようになるため、より自然な語学が身に付けられたと感じました。おかげで留学前は日常会話レベルの英語が留学後には日常会話は流暢になり、日本酒やビールに関する専門会話もできるレベルに達することができました。

2つ目は「チャレンジ精神」です。留学中、周りにあるもの全てが初めてで常にチャレンジに溢れる毎日を過ごしていました。特に印象深かったのがインターンシップ先の探索です。私は最終的に計5社でインターンシップをしたのですが留学前は1つも決まっていませんでした。さらに仲介会社なども介さなかったため始めは何もツテのない状態でした。何もしないままでは留学の目的が達成しないで終わってしまうので、とにかく日本酒やビールに関係のあるところはもちろん、関係のないところにも顔を出し、自分の目的を話し続けました。その結果、5社で素晴らしい経験をさせてもらうことができました。もともと人前に出て話すことが苦手な私にとっては自分の殻を破るような経験したが、怖がらずにチャレンジしてみて良かったなと感じます。

3つ目は「自信」です。これは2つ目に関連するのですが、自分の目的を多くの方に話す中で気付

いたことがあります。それは自信を持って話すことで説得力が生まれるということです。同じ内容を話していても自信満々に話しているのと、自信なさそうに話しているのでは聞き手にとって聞きやすさが違うのだと思います。ここでも自分の弱点克服に繋げることができました。

最後は「考える力」です。新しい環境、文化の中では多くの問題にぶつかります。特に私の場合、交換留学のような留学ではなく完全オリジナルで自由に留学計画を立てたために常に初めてなことと向き合っていました。その場ではとても辛いことでありましたが解決するために考え抜き、自分の答えを出し続けてきました。この経験は日本での生活でも役に立つと信じています。

6、最後に

私は本当に留学してよかったなと思います。語学だけでなく、専門知識、経験等海外でしか得られない学びがありました。ぜひ留学に迷っている方は、今すぐに留学計画を立てて、時間のある在学中に行きましょう。また、その際にはトビタテ留学 JAPAN！を使って留学するとより良いものになると思います。トビタテは金銭面だけではなくメンタル面、経験の面でもメリットがあります。何か相談がある際には私も喜んでサポートさせていただきますので、皆さん頑張りましょう！



